

# クロム活用シート

## 1年 音楽科

- 単元名『せんりつでよびかけあおう』
- 本時の評価規準  
思いに合った表現をするために必要な呼びかけとこたえなどの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽を作っている。【知識・技能④】
- 指導計画

|    | 学習活動   | ICT 活用場面  |
|----|--|---|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> <li>既習のリズム打ちをする。</li> <li>教師の示した旋律を、手の動きで音の高さを表しながら階名唱する。</li> <li>自分のお気に入りの旋律を作る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">お気に入りの旋律を作ろう。</div> | <b>A I</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>既習のリズムをスライドで提示し、打つ。</li> </ul>                                     |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> <li>どれみふぁその中から三つの音を選び、「●●●・」のリズムで旋律を作る。</li> <li>友達が作った旋律を全員で鳴らしたり階名唱したりして、まねっこする。</li> </ul>   | <b>B I</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>クラスルームの「授業」からリンクを開く。</li> <li>音を当てはめ、再生したり違う音を当てはめたりする。</li> </ul> |
| 終末 | <ul style="list-style-type: none"> <li>お気に入りの旋律を完成させる。</li> </ul>  |   |

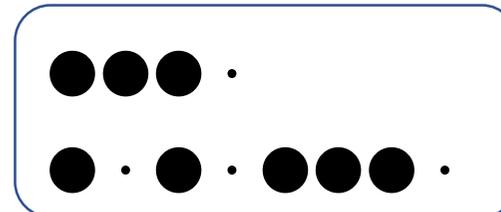
### 4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

|   |        |   |                       |
|---|--------|---|-----------------------|
| I | 知識及び技能 | 2 | 問題解決・探究における情報活用の方法の理解 |
|   |        | ① | 情報収集、整理、分析、表現、発信の理解   |
|   |        | C | 共通と相違、順序などの情報を収集する方法  |

### AI 教師による教材の提示

使用するアプリ等 「クラスルーム」「GoogI スライド」

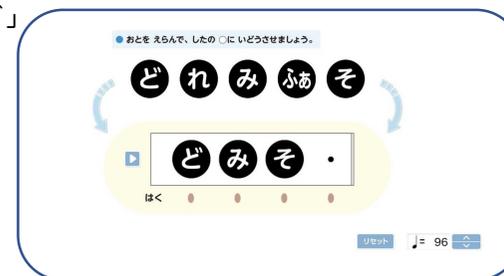
|   | 活用の流れ               |
|---|---------------------|
| ① | ・既習のリズムをスライドに貯めておく。 |



### BI 個に応じる学習

使用するアプリ等 「教科書 QR コード」

|   | 活用の流れ                     |
|---|---------------------------|
| ① | クラスルームからリンクを開く。           |
| ② | 色々な音を当てはめて、お気に入りの旋律を見つける。 |



### 活用の効果

音と鍵盤の位置が一致していない、●●●・のリズムで吹くことができないなどの理由で音づくりがうまくできない児童もいるが、当てはめるだけで音を鳴らしてくれるので、音づくりがスムーズにできた。友達が作った旋律を真似する時も、簡単に真似できるので、たくさんの旋律を作ったり試したりすることができた。